

おかざき

議会だより

令和3年8月1日発行

vol.
208

2021

6月定例会

一般質問から、
岡崎市の今、未来を考える！

- P02 一般質問
- PI0 主な議案
- PI1 委員会審査
- PI2 討論
- PI3 審議結果、9月定例会予定
- PI4 令和2年度政務活動費収支報告
- PI6 政府などへの意見書 他

(表紙写真の説明は裏表紙をご覧ください)

更に詳しい情報は
岡崎市議会HPへ



一般質問

6月定例会では、24人の議員が市政について質問しました。なお、本紙では、太字の質問項目の概要について掲載しています。より詳しい内容や他の項目については、市議会HPで公開している議事録及び議会映像をご覧ください。

一般質問の掲載原稿は、議事録に基づき質問議員が作成しています。

近藤敏浩（チャレンジ岡崎）

- ・本市の交通施策

荻野秀範（自民清風会）

- ・中山間地域の振興

- ・林業の振興

野本篤（自民清風会）

- ・都市計画道路柱町線

- ・小中学校体育館へのエアコン設置

- ・公園

- ・JR岡崎駅自由通路の活用

原紀彦（民政クラブ）

- ・市域周辺部の今後の暮らし

野々山雄一郎（自民清風会）

- ・まちの環境美化対策

加藤義幸（自民清風会）

- ・渋滞解消

- ・小中学校のトイレ

- ・スポーツ振興

蜂須賀喜久好（自民清風会）

- ・文化財

- ・持続可能な農業

野島さつき（公明党）

- ・ヤングケアラー

- ・テレワークの推進

前田麗子（自民清風会）

- ・コロナ禍における介護保険の行政運営

- ・

- ・コロナ禍での市民病院の入院患者との面会

- ・高齢者の権利擁護

- ・カーボンニュートラルに向けた電動車両

佐藤哲朗（民政クラブ）

- ・矢作地区の道路整備

- ・

大原昌幸（無所属）

- ・公共施設の総量

廣重敦（自民清風会）

- ・ゼロカーボンシティ

- ・生活の安全・安心に向けた持続的な農地保全

- ・総代支援の充実

土谷直樹（公明党）

- ・無人航空機（ドローン）の活用

- ・水道スマートメーター

加藤嘉哉（民政クラブ）

- ・コロナ禍から見る行政の在り方

- ・東岡崎駅周辺地区整備

青山晃子（チャレンジ岡崎）

- ・防災対策における自助と共助の推進

- ・小学校の性教育

田口正夫（無所属）

- ・放課後児童クラブ

- ・1級河川鹿乗川

- ・行政のデジタル改革の推進

加藤学（民政クラブ）

- ・公契約条例と入札・契約制度改革

- ・六名・江口地区の浸水対策

杉山智騎（チャレンジ岡崎）

- ・学校生活

井町圭孝（民政クラブ）

- ・本市の特別支援学級

- ・本市の水害対応

中根善明（無所属・日本共産党岡崎市議団）

- ・災害対策

- ・学校教育

中根武彦（自民清風会）

- ・屋外広告物を活用したまちづくり

- ・部の経営方針

磯部亮次（自民清風会）

- ・QURUWAエリアの今後

- ・観光推進

鈴木雅子（無所属・日本共産党岡崎市議団）

- ・新型コロナウイルス感染症から市民のいのちと暮らしを守る施策

- ・QURUWA戦略と東岡崎駅周辺整備

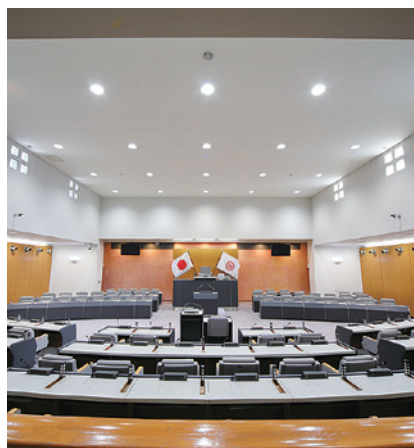
- ・

- ・ジェンダー平等社会実現に向けた本市の施策

原田範次（自民清風会）

- ・矢作川

- ・



一般質問とは

・議案とは別に、事務の執行状況や将来の方針など、市政全般についての報告や説明を求め、疑問を問いたすものです。

・岡崎市議会では6、9、12月定例会で行っています。

今定例会では、一般質問を行った全ての議員が一問一答方式により質問しました。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、一般質問の持ち時間を1人50分から30分へ短縮しています。



「交通の便が悪い」という問題解決に向けて

近藤 敏浩（チャレンジ岡崎）

問 交通の便が悪いという市民意識調査の結果をどのように課題として整理し、施策を定めるのか問う。

答 人口推移、土地利用や道路、公共交通の状況、上位関連計画の位置付けなどを基に、現状と課題を整理し、計画を策定しており、各支所単位で、現状に応じて事業・施策を定めている。

問 バス路線を確保・維持していくための今後の計画の方向性について問う。

答 今年度、総合交通政策と地域公共交通網形成計画を統合した形で、新たに地域公共交通計画の策定を進めている。今後は既存バス路線の改善を継続して行いながら、基幹軸を補完するような地域内交通、身近に利用される交通手段の整備について、有識者や交通事業者などの意見を聞くとともに、パブリックコメントを実施し、次期計画に反映していきたい。



小規模特認校制度の今後の方針は

荻野 秀範（自民清風会）

問 中山間地域では、地域の文化や心のよりどころである学校の存続を心配されている人が多くいる。今後、特認校制度をどのようにしていくのか、方向性とスケジュールについて伺う。

答 本年度は、小規模特認校制度の導入に向けて制度設計を進める。令和3年8月をめどに制度の対象となる学校規模や通学手段、受け入れ可能な人数などの検討を行い、その後、検討した内容を対象校や学区と共有し、協議していく。対象校では学校、保護者、地域の声を集約するとともに、制度を導入するかを判断し、導入を決めた学校では、改めて保護者や地域住民に対して丁寧に制度の周知を図った上で、募集を開始していく。制度を利用する子どもだけではなく、学校や地域の子どもたちにとってもより良い制度となるよう、議論を深めていきたいと考えている。



小中学校の体育館への空調機設置

野本 篤（自民清風会）

問 空調機設置に向けた国の補助制度はあるか。

答 文部科学省では、体育館を含む全ての部屋を対象とし、空調機の設置に要する経費の一部に「学校施設環境改善交付金」を交付し、設置の推進を図っている。また、経済産業省の補助事業では、「災害時に備えた社会的重要インフラへの自衛的な燃料備蓄の推進事業費補助金」の制度がある。

問 体育館への空調機設置に対しては、コストの面から不安があったが、検討の余地があると考ええる。もう一歩踏み込んだ検討が必要と考えるが、見解は。

答 設置には多額の費用が掛かることから、国の補助制度の研究を含めた財源確保の検討、空調方式の検討、断熱対策の研究といった課題が多くある。先進都市の事例研究など、効率的・効果的で実現可能な設置方法について更なる検討に取り組んでいく。



北斗台・滝岡団地の
公共交通施策

原 紀彦（民政クラブ）

問 北斗台団地・滝岡団地の住民を対象に実施した、住まいや暮らしのアンケートの結果は。

答 5年後には、およそ半数が後期高齢者になることが判明した。また、約84%が今後も住み続けたいとの回答だった。最も使う交通手段は、自分で運転する自家用車との回答で約82%となった。

問 今後も現在の住まいに住み続けてもらうための本市の取り組みは。

答 自家用車を利用しない人に対する移動手段は、両団地とも名鉄バスの乗り入れがある。しかし、公共交通としての移動手段も利用者数の減少や交通事業者側の課題を含め、その運用の検討も必要となってきた。自動車業界は100年に1度の大転換期を迎えているとされているが、その流れを踏まえて、民間事業者と連携しながら、住民のニーズに 대응していくよう取り組みを進めたい。



まちの環境美化対策
市民協働による美化活動

野々山 雄一郎（自民清風会）

問 ごみ拾いアプリ「ピリカ」と地域活動を連動させること、また、アダプトプログラム（里親制度）として地域環境美化活動に取り組みむべきと考えるが、見解は。

答 ピリカは世界107カ国で利用され、それぞれの活動に対して世界中から「ありがとう」との反応があり、ごみ拾いに対する意欲の向上や活動の活性化につながる。今後は、ピリカを通じて直接地域の清掃活動への参加を促すなど、発展的に活用していく。また、本市ではアダプトプログラムと同様にパートナーシップによる美化活動を進めている。地域での環境美化を推進するためには、地域住民を始め事業者や地域の活動団体の自発的な取り組みが不可欠である。今後もコロナ禍を含む社会情勢や各地域の課題、ニーズを的確に把握し、必要な支援と連携を図りながら、常に良好な環境が保たれるよう努めていきたい。



渋滞解消

加藤 義幸（自民清風会）

問 3月から渋滞解消総点検がスタートし、市民から意見等を募ったところ、72カ所について意見が寄せられている。その中で一番意見の多かった、若松線と県道岡崎幸田線が交差する若松町丸山田交差点の渋滞解消策について、今後の対応を問う。

答 渋滞の原因は、岡崎幸田線、若松線ともに右折レーンが無いため、特に岡崎幸田線の北向きに1台でも右折車があると、後続の直進を阻害し、長い渋滞が発生している。解消策として、短期的には右折しやすくなるような信号サイクルへの変更、中期的には若松線の整備で取得した用地を活用して暫定的な右折レーンの設置など、段階に応じて渋滞対策ができるよう早急な検討、関係機関との協議を進める。



若松町丸山田交差点



文化財保護と
岡崎漆の産地化

蜂須賀 喜久好（自民清風会）

問 文化財保護と岡崎漆の産地化、岡崎漆プロジェクトの内容を問う。

答 本市には滝山寺東照宮を始め重要文化財が県内で2番目に多くある。漆塗装の修理は40年に1度行う必要があり、修復には漆が不可欠である。平成27年に文化庁は国宝や重要文化財の保存修理では原則として国産漆を使用する方針を示したが、国内の漆消費量が年間60トであるのに対し、平成30年の生産量は1・8トで消費量の3%と、ほとんどが輸入に頼っている現状にある。そこで、岡崎漆として新たに本市、大学等の研究機関、市内民間事業者、地域の団体等で構成し、公民連携、産官学連携で岡崎漆プロジェクト事業を推進していく。漆は10～15年で樹液が採取でき、比較的短期間で収益につながり、文化財保護、山村振興、SDGs、カーボンニュートラルにも大きく貢献する。



ヤングケアラー

野島 さつき (公明党)

問

本年5月に厚生労働省と文部科学省がヤングケアラーの

支援に向けて報告を取りまとめ、国として初めての支援策が盛り込まれた。早期発見の仕組みづくりが急がれるが、本市における今後の支援体制をどう考えているのか。

答

子どもに現れるわずかな兆候も見逃さない早期発見の体制を構築するために、各学校にスクールソーシャルワーカーを配置し、いち早く支援できる体制を整えていきたい。また、ヤングケアラーとならざるを得ない要因を改善するため、世帯全体を支援するという観点を持って支援策を検討し、実行していかねばならない。更に、重層的支援体制整備事業において、多機関協働事業やアウトリーチ等を通じた継続的支援事業などにより適切な福祉サービスにつなげていく。本来守られるべき大切な子どもの権利を、オー

ル岡崎で守っていきたい。



介護事業所のコロナ支援
に対する行政運営

前田 麗子 (自民清風会)

問

コロナにより前年度対比で5%利用者が減ったことで

経営的に厳しい事業所に対し、届け出により基本報酬の3%相当を3カ月間加算できる国の施策がある。4月から事業所がこの3%加算を取得するためには、4月1日までにケアマネジャーが利用者に同意を取らなければならないが、同意とは何を指すのか。

答

ケアマネジャーの同意については、居宅サービス計画の

原案の内容を利用者またはその家族に説明し同意を得るとあることから、サービス利用票、サービス利用票別表を用いて説明し、同意を得てもらうことになる。4月分のサービス利用票、同別表については、システムの都合上、3%加算を表示することができない可能性があるが、この場合、利用者またはその家族に対して口頭で3%加算が算定されることを説明し、同意が得られていれば問題はない。



矢作地区の道路整備

佐藤 哲朗 (民政クラブ)

問

矢作川右岸南北道路は南側から工事を開始しているが、

豊田西尾線に接続する北端部では交通集中の可能性が高く、通学路もある場所となるため交通事故の発生を懸念している。市民の安全を守り、理解を得て進めていく必要があると考えているが、今後の進め方を問う。

答

北側の既存道路との接続部

では、集中した車両のスムーズな合流を図らなければ渋滞の一点集中を招きかねないことは十分に承知している。また、接続に当たっては、用地の取得に対して地域住民に協力してもらうことになる。これらのことを踏まえ、しっかりと地域の意見を聴き、心配される住宅地や通学路の安全確保を最優先に道路の建設を進めていきたいと考えている。



アダプトプログラム

一定区画の公共の場所を養子に見立て、市民が我が子のように愛情を持って清掃美化を行い、行政がこれを支援する制度



ヤングケアラー

本来、大人が担うと想定されている家事や家族の世話を日常的に行っている子ども





公共施設の総量

大原 昌幸（無所属）

問 市内の公共施設の総量が多いため将来の更新費用などで581億円もの多額の財源不足が試算されている。コンベンション施設の建設について市民に意見を聴いていく際に、公共施設の総量を縮減する必要があることの説明が含まれるのか、含まれないのか、2択で簡潔に伺う。

答 コンベンション施設は過去より多くの人からの賛同を得て進めてきた施設である。そうした背景に鑑みて、施設の整備が市民にとって必要なのかという観点で意見を募りたい。また、今まで市民と直接向き合って対話型で意見を聴いており、その選択肢は、現行のコンベンション施設を続けていくということ、何か別のものを作っていくということ、もう一つはあの土地には何も造らないということ、大まかに言ってこの三つの中で意見を聴いているということとは理解してほしい。



ゼロカーボンシティ

廣重 敦（自民清風会）

問 二酸化炭素排出量の実質ゼロに向けたロードマップはあるのか。また、そのために全市一丸となって取り組むための訴求方法を含めた戦略で、既に仕掛けられているものがあるのか。

答 法律の施行に合わせて示される国の方針等の情報収集に努め、ロードマップや戦略を策定する必要があるが、ゼロカーボンシティの実現に向けた心構えや準備をしっかりと行い、良いスタートダッシュが切れるよう令和3年度の途中での組織再編について検討する。また、ロードマップや戦略を実行するためには、市民や事業者との連携、協力が必要となる。企業の協力を得るための施策としては、市で開発予定の阿知和地区工業団地に3千平方メートルの用地を市が確保し、民間企業等に対して、次世代の低炭素化に貢献する技術の試験的導入等に活用してもらうことを考えている。

(1)無人航空機の活用
(2)水道スマートメーター

土谷 直樹（公明党）

問 (1)災害発生時に俯瞰的な情報収集活動を行えることが無人航空機（ドローン）のメリットと考えるが、更なる導入の意向は、複数台を保有することで、

答 搜索活動と安全管理活動を同時に

に行えるなど有効利用の幅が広がり、市民に対し更なる安全・安心を提供できると考える。将来的には消火活動などへ導入する可能性も高く、機種の選定やランニングコスト等、総合的な判断が必要なことから検討課題と考えている。

問 (2)水道スマートメーターによって、時間単位で水道使用量を見える化することにより、見守り支援への活用にもつながると考えるが、今後の方針は。

答 検針・徴収業務の効率化を図ることに加え、担い手不足への対応、高齢者の見守りサービスなど福祉的な活用も考えられ、市民サービス向上のための有効な手段の一つとなると期待している。



東岡崎駅周辺地区整備

加藤 嘉哉（民政クラブ）

問 東岡崎駅周辺地区整備においては、北東街区の整備が進み、東岡崎駅の北口では商業施設等にぎわいが生まれ始めている。反対側にある南口の整備について、本市の考えは。

答 名古屋鉄道が策定した3カ

年中期計画において南北一体的な複合開発が計画されており、本市の東岡崎駅周辺地区整備事業の第2期整備についての協議の中で、南口の再整備についても検討している。南北自由通路を新たに整備し、現在の地下改札を橋上化する計画となっていることから、東岡崎駅の南駅前広場には自由通路の階段や昇降施設等を新たに設置する必要がある。また、駅ビルの整備に合わせて建設される南北自由通路により、北口のにぎわいを南口にも誘導して、南口にもにぎわいを生み出せるように進めていきたいと考えている。



東岡崎駅南口



青山 晃子 (チャレンジ岡崎)

(1)分散避難の推進
(2)体育の授業時の着替え

問 (1)地域や民間が所有する施設を、老人クラブや親子サークルなど特定のコミュニティが一時的な自主避難所として分散避難に活用することは可能か。

答 市内の一部地域では、地域の取り決めで町が所有する公民館等を地域住民の自主避難場所として活用している事例がある。

特定の団体等による避難の場合にも、施設管理者の許可があれば自主避難先として活用することは可能である。トラブルを回避し安全を確保するためにも大変有効であり、積極的に活用してもらいたい。

問 (2)文部科学省は、小学校の体育授業時の着替えを原則として男女別で実施するように呼び掛けているが、現状はどうか。

答 多くの小学校では、心身の発達段階を踏まえ空き教室の使用や時間差での着替え、学級の中をカーテンで仕切るなど着替えが男女別となるよう工夫している。



鹿乗川の今後の整備予定
田口 正夫 (無所属)

問 現在整備を進めている鹿乗川の改修について、最上流部までの整備の完成には、まだまだ時間が必要と認識している。これまで田んぼであった土地が埋め立てられて宅地化するなど、保水能力が失われつつある現状から、少しでも早期の整備を地域住民は熱望しているが、本市の見解は。

答 国道1号の矢作町猫田交差点付近は、大雨による冠水が度々発生している。被害の軽減には鹿乗川上流部と赤池支川の改修が必須だが、赤池支川では国道や名鉄名古屋本線との交差部がボトルネックとなっており、改修難易度が高く、関係機関との協議に時間が必要である。昨年12月には市長も現地を確認し、国道交差部については管理者の国に早期整備の申し入れを行ったところであり、今後まずは県に改修促進を強く要望するとともに、国や鉄道事業者との協議を早急に進めていく。



市内経済の活性化や地元企業の育成へ
加藤 学 (民政クラブ)

問 地元企業優先調達条例の制定に至る経緯、また条例の基

本理念による発注基準や入札・契約制度の考えと適正化に関する取り組みについて伺う。

答 市内経済の活性化や地元企業の育成の観点から、競争性の確保を前提とした上で地元企業の受注機会の確保を最優先とする本市の方針を条例化し、市民や市内事業者を示すべきと判断し、条例案を上程した。条例案の議決後に、現在の入札・契約制度を見直すとともに、新たに基本方針、発注基準を策定する予定である。基本方針では、建設工事、委託業務及び物品購入を対象として調達に係る実施方針を示し、発注基準では具体的な入札の実施条件、市内事業者優先の選定要件を規定するなど、競争性、透明性、公平性及び公正性を確保した上で発注ルールを統一し、運用の順守を徹底したい。



本市のブラック校則
杉山 智騎 (チャレンジ岡崎)

問 ツーブロック禁止、ポニーテール禁止、前髪は眉毛より上、スカートの丈はひざ下など、全国的にブラック校則が問題となっている。本市でもこのような時代遅れを感じ、主体性・多様性とは逆行するような校則や決まりがある現状だが、それらを見直すことはあるのか。

答 校則や決まりを見直すことはある。本市では、身なりや持ち物等の校則や決まりを生徒が主体的に見直すとする取り組みがいくつかの中学校で行われるようになった。教育委員会としては各校の校則や決まりを確認し、各校においては時代の流れにそぐわないもの、社会通念から見ても不合理なものを無くすことはもちろんのこと、いま一度、校則や決まりについて丁寧に見直すよう、定例校長会議や生徒指導主任会の場において依頼したところである。





矢作南部地域の
水害対応

井町 圭孝（民政クラブ）

問 矢作川が危険な状態のとき、矢作南部では安城方面へ避難する人が多くなると予想するが、安城市へ避難しても本市の支援を受けることができるのか。

答 安城市とは令和2年3月に災害発生時における広域避難に関する協定書を締結した。本市の市民が安城市に避難した場合に、本市職員が避難先で連絡調整に当たるとともに、避難者に提供する物資についても市内避難者と同様に対応していく。

問 矢作南部の住民に安城市の避難場所を周知する考えは。

答 安城市の避難所は、本市が安城市に開設の要請をし、調整ができた次第開設する。安城市の被災や住民の避難状況によって開設する場所は流動的であり、混乱を避けるため事前の周知は行わない。なお受け入れが可能となった場合は、ホームページや防災メールなどで速やかに情報発信する。



学校教育について

中根 善明（無所属・日本共産党岡崎市議員）

問 教員の残業時間の管理方法は。

答 教職員自身が各自の校務用パソコンで、毎日出勤や退勤の時刻を入力することで、自分の在校等時間を管理している。また、管理職が教職員の出勤や退勤の時刻等を現認確認したり、入力された在校等時間を再確認したりして管理をしている。

問 市内の小中学校で教員が欠員している学校の数は。

答 年度当初は市内の小中学校において欠員が生じた。これらの学校には4月中に常勤講師を補充し、常勤講師を補充できない学校は、非常勤講師で対応した。

問 教員免許の更新が、教員確保の障壁になっていないか。

答 本市では市内小中学校の講師の希望があれば、誰でも教員免許状更新講習を受講できる体制を整えており、人材確保に大きく寄与していると考えている。



部の経営方針

中根 武彦（自民清風会）

問 岡崎版GIGAスクール構想の推進と、持続可能な仕組みづくりについて問う。

答 新型コロナウイルス感染症の拡大の影響による学びの保障の必要性から、いち早く国へ働き掛け、昨年度の早い段階から整備の準備を進めてきた。校内の高速ネットワークについては、中核市以上では極めて早く、昨年の2学期の始業式当初には整備を終えた。同様に、タブレット端末についても、需要過多で調達が困難になる中で、昨年12月には全ての児童生徒に1人1台の配備を終え、様々な場面で活用されている。持続可能な仕組みづくりについては、必要なメンテナンス体制を既に構築しており、今年が初めてとなる年度更新では、各学年で端末を持ち上がり、中学校を卒業した生徒の端末をリフレッシュして小学校へ移動させるなど、一連の作業を新学期に間に合わせる事ができた。



コンベンションホールと
ホテル建設計画の動向

磯部 亮次（自民清風会）

問 コンベンションホールとホテルの建設について、今後どのように答えを出していくのか。

答 市民の意見聴取を9月末までに実施し、専門家で構成されるデザイン会議にも意見聴取をして、取りまとめたものを総合政策指針審議会に諮問し、11月末をめどに総合的な判断を行う。

問 民間が行うホテル建設についても見直しの対象なのか。

答 民設民営のホテル事業そのものは基本的に見直しは無い。ホテル誘致はぜひとも進めるものと認識している。

問 商業地域である太陽の城跡地には、ホテル誘致に合わせた地域経済の循環につながる施設を整備すべきではないか。

答 単一の機能ではなく、幅広い世代の市民や来訪者など、多様な人々の出会いや交流の重要な拠点としての都市機能を有する施設を整備すべきと考えている。



(1) パートナースhip制度
(2) 学校の制服

鈴木 雅子 (無所属・日本共産党岡崎市議員)

問

(1) LGBTQの問題は、マインオリティーの人たちだけの問題ではなく、ひいては全ての私たちの人権が守られる社会をつくることのできるかどうかの問題である。多様性を認めたパートナーシップの導入についての考えは。

答

市民の理解を深め、審議会での意見聴取や市民主催の勉強会へ参加するなど、様々な立場からの意見を聴き取ることに努めながら同性パートナーシップ制度について研究したいと考えている。

問

(2) 本市の小中学校の制服について、男女兼用のスラックス導入の状況と、教育委員会の見解を問う。

答

現在、福岡中学校、矢作中学校、六ツ美北中学校の3校が女子のスラックスを認めている。教育委員会としては、各学校において、子どもが男女の区別なく生活できる学習環境づくりが進められることを期待している。



矢作川避難計画

原田 範次 (自民清風会)

問

矢作川の鵜の首と呼ばれる狭窄部では令和2年度から工事が始まっており、下流の狭窄部である矢作橋周辺の流量が増えることによる災害発生を危惧する。地域一丸となって避難をする際の取り組みについて、本市の考えは。また、矢作地域全体で災害を乗り越える手法をどのように考えるか。

答

今年度から各学区の防災防犯協会に新たに防災担当委員を配置し、地域の防災人材の育成を支援していく。また、要配慮者を含む全ての住民が的確な避難行動を取るためには、地域性や災害特性に応じた避難が必要となることから、地区防災計画の策定等への支援に取り組んでいく。矢作地域の水害時の防災行動については、まずは学区あるいは町の単位で矢作川避難計画を反映した地区防災計画の策定等を実施し、これをモデル地区と位置付けて地域全体に波及させていく手法が考えられる。

市議会ウェブページ

市議会の活動をご覧いただけます。

詳しくは、岡崎市ウェブサイトのトップページから「市議会」をクリックするか、岡崎市議会で検索してください。



ここをクリック

岡崎市議会

検索



主な議案

本会議で提出された議案の説明を受けました。審議結果は、13ページに掲載しています。

承認議案

■一般会計補正予算の専決処分／

国の新型コロナウイルス感染症対策における子育て世帯生活支援特別給付金に要する経費に係る予算措置（令和3年4月1日専決）。

条例議案

■地元企業優先調達条例の制定／

地元企業に対して優先的な調達機会を確保することにより、公共調達を通じて、地元企業の育成及び地域経済の持続的な発展に寄与するため、地元企業の優先調達に係る市の基本理念等を定める。

■個人番号の利用及び特定個人情報

報の提供に関する条例の一部改正／個人番号利用事務の範囲並

びに庁内連携を行う個人番号利用事務及び特定個人情報の範囲を見直す。

■保護施設等の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正／救

護施設、更生施設、授産施設及び宿所提供施設の設備及び運営に関する基準（省令）が一部改正され、これらの施設についての衛生管理等の基準が強化されることに伴い、衛生管理等に係る独自の基準を削除する。

■地区計画の区域内における建築物制限条例の一部改正／西三河

都市計画阿知和地区計画において地区整備計画が定められた区域内における建築物に関する制限事項を定める。

その他議案

■物品の取得（災害対応特殊救急自動車他1件）／災害対応特殊

救急自動車、高度救命処置用資機材を取得する。

■工事請負の契約（伝送路整備工

事）／大平町ほか69カ町地内の伝送路整備工事の契約を行う。

補正予算議案

■一般会計補正予算（第2号）

○総務費／政策企画推進支援委託料、中山間地域活性化計画策定委託料、戸籍情報システム改修委託料など約2308万円の増
○民生費／消耗品費（生理用品）、放課後児童健全育成事業費補助金、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費など約4億1972万円の増

○衛生費／新型コロナウイルス感

染症行政検査委託料、新型コロナウイルス感染症予防接種事業費など約4億3758万円の増
○農林業費／岡崎漆プロジェクト推進事業費に対し46万円の増

■一般会計補正予算（第3号）

○衛生費／実証事業実施委託料に対し1485万円の増

■一般会計補正予算（第4号）

○民生費／新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業費に対し約5122万円の増

○衛生費／新型コロナウイルス感

染症自宅療養者医療体制確保協

力金、新型コロナウイルス感染症予防接種移動手段確保対策費負担金、医薬材料費（新型コロナウイルス感染症検査用品）に対し約9954万円の増

■病院事業会計補正予算（第1

号）／看護補助業務派遣手数料に対し約3988万円の増

令和3年度6月補正予算

（単位：万円）

	補正前	補正額	補正後
一般会計	12,330,849	105,409	12,436,258
特別会計	6,499,367	23	6,499,390
企業会計	5,710,066	3,988	5,714,054
合計	24,540,282	109,420	24,649,702

委員会審査

4 常任委員会を開催し、付託議案の審査を行いました。主な内容は次のとおりです。

総務企画委員会

一般会計補正予算（第2号）

総務費

問 データ駆動型イノベーション創出事業の概要は。

答 本事業では、21基の人流カメラから得られる日時別の通行量や進行方向、性別、年代のデータを民間事業者が活用しやすいように整理して見える化を行うデータ処理業務、デジタル人材と、ものづくり人材などの業種の違う人材を交流させて課題解決のイノベーションを誘発する場づくり連携体制構築業務、そして、民間事業者に対して事業スキームや資金循環アドバイザーなどを行う事業創造支援業務の三つの業務を行う予定である。

福祉病院委員会

病院事業会計補正予算（第1号）

問 市民病院の病棟への人材派遣による看護補助者の配置について、夜間に配置する目的と期待される効果、人材派遣とするメリットは。

答 夜間の看護補助者の配置は、看護師でなくてもできる病棟での業務を看護補助者が行うことで、看護師の業務負担を軽減することが目的である。これにより、夜間と翌朝の看護師の業務負担が軽減され、看護師が少しでも多くの時間を患者の看護に関われるようになることが期待される。また、夜間の看護補助者の配置により、診療報酬の夜間急性期看護補助体制加算（100対1）及び夜間看護体制加算の施設基準を新規に取得できることから、入院収益が増加し、経営面でも収支の改善に寄与する効果がある。メリットとしては、直接雇用よりも人材の確保が容易となることが挙げられる。

文教生活委員会

一般会計補正予算（第2号）

教育費

問 美術博物館の展示ケースの照明の更新において、展示方法の幅を広げたり、作品の魅力をより引き出したり、展示ケース内の環境を改善して作品への環境負荷を減らすといった、付加価値を

上げることを検討しているのか。

答 蛍光灯からLEDに更新することで、LED照明の特性を生かした展示が可能になると考えている。紫外線が発生せずに熱の発生も抑えられるため、展示資料への負荷が軽減され、また、器具自体がコンパクトになることで、展示空間の雰囲気損なわない演出が可能となる。更に、ミュージアム仕様の高演色型器具を採用予定であることから、特に美術作品については作品本来の色味を忠実に見せることができるなど、これまで以上に作品の魅力を引き出す展示ができるものと考えている。

経済建設委員会

一般会計補正予算（第2号）

総務費

問 中山間地域活性化計画の内容容は。また、地域住民の意見を聴くための組織の立ち上げに対する考えは。

答 本計画は、旧額田町の5学区と旧岡崎市の林野率の高い7学区の計12学区を対象に、中山間地域全体の現状と課題を整理・分析し、地域全体の活性化に向けた方向性を示した上で、小学校区ごとに所在する施設の有効活用策も含めた構想プランとする予定である。計画の策定プロセスでは、地域住民の意見を聴きながら地域の実情に合った内容とすることが最も重要と考えており、組織の立ち上げは有効な手法の一つと認識している。実効性のある計画とするために効果的な手法を取り入れたいと考えており、地域運営のための組織に発展するような仕掛けも検討していきたい。

本会議最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各党派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。

一般会計補正予算

自民清風会

「中山間地域を持続可能な魅力ある地域とするため、公民連携による既存施設の有効活用も含めた計画を策定する。旧額田町と旧岡崎市では地域課題や地元意識も異なると考えられ、そうした事実を踏まえた上でしっかりと地元の意見を吸い上げられる仕組みを考えて反映し、実効性のある計画とされたい。また、戸籍整備業務では付票に出生年月日・男女の別・住民票コードを加えることにより、国外転出者がマイナンバーカードや公的個人認証を利用し、オンラインによる様々な行政手続きやサービスを受けられるようになる。今後の本市のデジタルトランスフォーメーションの適切な展開を期待する」と意見を述べ、**賛成**した。

民政クラブ

「経済的な理由などにより生理用品の購入が困難な女性を支援するため、生理用品の配布場所を拡充し、市役所の閉庁日でも必要な人が気軽に利用できるように、りぶら・げんき館・地域交流センターの女子トイレや多目的トイレにも設置する。今回だけの対応ではなく継続的な取り組みとなるよう前向きな検討をされたい。また、岡崎漆プロジェクトでは、三河漆の産地復活とブランド品「岡崎漆」を目指し、公民連携、産官学連携で事業を推進していく。耕作放棄地対策、山林の有効活用、そして林業6次産業化を通じて、ものづくり産業・新産業の振興に期待をする」と意見を述べ、**賛成**した。

チャレンジ岡崎

「64歳以下の新型コロナウイルスワクチン接種の開始も見通しが立ち始めている。年齢別や職域接種など、混乱を来さないような接種券の配布・予約方法を検討された。接種の対象年齢の引き下げの是非が一部で議論されている。中

高生への接種券配布時には、これまで以上に平易な言葉でメリット・デメリット等の情報提供が必要である。自らの意思で判断するため、家族で話し合うための材料として必要な情報の提供を期待する」と意見を述べ、**賛成**した。

公明党

「スマートウエルネスシティ推進業務において、食べて健康、歩いて健康のスマートウエルネスシティの推進に、地域の観光資源を活用した連携促進実証事業を行う。これからのウイズコロナ、アフターコロナを見据えた事業として、本市ならではの観光資源の活用と健康づくりが結び付くことで、更なる健康無関心層への働き掛けにつながることを期待する」と意見を述べ、**賛成**した。

無所属・日本共産党岡崎市議員

「戸籍情報システムの改修は、国が一括して情報を収集できるようにする改修であり、戸籍に記載された個人単位の情報を整備し、そこから作成する戸籍関係情報を連携対象とすることが可能になる。

行政手続きにおける戸籍謄本等の添付を省略できるようにするのと引き換えに、個人情報売り渡すシステム改修となる」と意見を述べ、**反対**した。

無所属・大原昌幸

「若者支援として、中学生と高校生を対象としたドローンの技術講習など7日間のセミナーを開催する。受講者が自分自身にどういった物事が向いているのかなどを確認できる良い機会であり、講師と話していく中で進学や就職などの進路の方向性を考える指針の一つになることを期待する」と意見を述べ、**賛成**した。

無所属・三塩菜摘

「人流カメラの活用で得られたテキストデータをオープンデータ化して民間事業者に提供していくことやデジタル人材・ものづくり人材の交流拠点づくり、ビジネスアイデアピッチコンテストの実施が予定されている。先進的かつ挑戦的な事業の性質を踏まえ、想定リスクを考慮した柔軟な対応をされたい」と意見を述べ、**賛成**した。

(○賛成、×反対)

審議結果 6月定例会		採決結果	会 派 別 賛 否			
			自民清風会	民政クラブ	チャレンジ岡崎	公明党
市長提出議案						
承1	市税条例の一部を改正する条例の専決処分	可決	○	○	○	○
承2	令和3年度一般会計補正予算の専決処分		○	○	○	○
56	物品の取得(災害対応特殊救急自動車)		○	○	○	○
57	物品の取得(高度救命処置用資機材)		○	○	○	○
58	市税条例の一部改正		○	○	○	○
59	地元企業優先調達条例の制定		○	○	○	○
60	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正		○	○	○	○
61	保護施設等の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正		○	○	○	○
62	地区計画の区域内における建築物制限条例の一部改正		○	○	○	○
63	令和3年度一般会計補正予算(第2号)		○	○	○	○
64	令和3年度継続契約集合支払特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○
65	令和3年度病院事業会計補正予算(第1号)		○	○	○	○
66	工事請負の契約(伝送路整備工事)		○	○	○	○
67	令和3年度一般会計補正予算(第3号)		○	○	○	○
68	令和3年度一般会計補正予算(第4号)		○	○	○	○
同4	固定資産評価審査委員会の委員の選任		○	○	○	○
諮1	人権擁護委員の推薦	異議なし	○	○	○	○
議員提出議案						
議4	学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションを適切に進めるための意見書の提出	可決	○	○	○	○

9月定例会予定

9月定例会の

請願・陳情提出締め切りは、

8月18日水

です。

月	火	水	木	金	土	日
8/30	31 開会、市長提案説明 議案説明 一般質問	9/1 一般質問	2 一般質問	3	4	5
6 議案質疑、決算特別委員会設置、委員会付託 決算特別委員会	7	8	9	10 決算特別委員会	11	12
	議案検討					
13 決算特別委員会 経済建設分科会 経済建設委員会	14 決算特別委員会 福祉病院分科会 福祉病院委員会	15 決算特別委員会 文教生活分科会 文教生活委員会	16 決算特別委員会 総務企画分科会 総務企画委員会	17	18	19
20	21	22	23	24 決算特別委員会	25	26
27	28 議会運営委員会	29	30 委員長報告、 質疑、討論、 採決、閉会	10/1	2	3

9月定例会の日程について

上記の議会日程は予定であり、今後変更する場合があります。

変更する場合は、岡崎市議会HPでお知らせいたします。詳しくは9ページをご覧ください。

傍聴に関するお願い

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、しばらくの間、本会議及び委員会の傍聴はご遠慮ください。議会で中継は、インターネット等でご視聴いただけます。

政務活動費の減額

本市議会として、新型コロナウイルス感染症対策の支援に係る財源の一部とするため、令和2年度の政務活動費の5割分を使用しないこととし、不用額と合わせて約1,800万円を返還しました。

3年度の政務活動費については、政務活動費の交付の特例に関する条例を2年12月定例会において議員提出で制定し、3年4月1日から4年3月31日までの間における政務活動費の交付額を、議員1人当たり月額5万円から月額2万5千円（年額30万円）に減額することとし、全体として政務活動費に係る予算額を1,110万円削減しました。



詳しくはパソコンなどで閲覧可能

本市議会では、収支報告書・視察報告・領収書など、全て市議会ホームページで公開しています。また、市役所西庁舎1階市政情報コーナーで閲覧することもできます。

ご不明な点は、議会事務局総務課（☎0564-23-6382）までお問い合わせください。



令和2年度（11月～3月） 政務活動費決算額内訳

◇会派名、所属議員数は令和3年3月末時点のものです。

会派名	交付額①	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	資料作成費	資料購入費	人件費	合計②	返還額①-②
自民清風会 (15人)	3,650,000		25,320	85,700		1,142,114	25,316	259,244	1,537,694	2,112,306
民政クラブ (9人)	2,250,000		11,000			219,592	30,030		260,622	1,989,378
チャレンジ岡崎 (4人)	1,000,000					6,072	2,420		8,492	991,508
公明党 (3人)	750,000						11,500		11,500	738,500
(無所属) 大原昌幸	250,000								0	250,000
(無所属-日本共産党岡崎市議団) 鈴木雅子	250,000					31,922	38,223		70,145	179,855
(無所属) 田口正夫	250,000								0	250,000
(無所属-日本共産党岡崎市議団) 中根善明	250,000		6,000		3,300	21,919	36,320		67,539	182,461
(無所属) 前田麗子 (11月～12月分)	100,000								0	100,000
(無所属) 三塩菜摘	250,000					4,899			4,899	245,101
(無所属) 柳賢一	250,000					38,652			38,652	211,348
計	9,250,000	0	42,320	85,700	3,300	1,465,170	143,809	259,244	1,999,543	7,250,457

※令和2年12月 前田麗子議員が自民清風会へ加入

令和2年度政務活動費収支報告

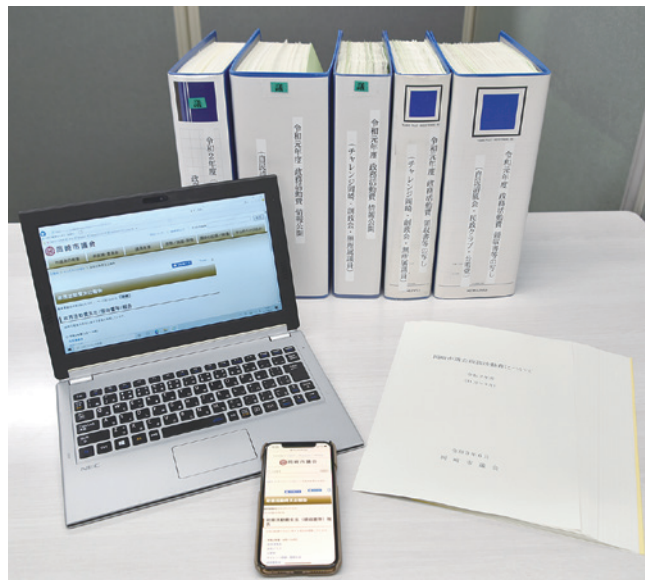
市議会ホームページで全て公開しています

政務活動費とは

地方自治法の規定に基づき、議員の政務活動に必要な経費の一部として、会派または議員に交付されるものです。本市議会では、議員1人当たり、月5万円（年額60万円）を交付しています。

令和2年度の収支報告

令和2年度の各会派（議員）の決算額内訳は表のとおりです。年度途中で任期が満了し、選挙により各会派（議員）が変わったため、4月～10月、11月～3月の期間に分けています。新型コロナウイルス感染症の影響により、先進地への調査研究視察による支出はありませんでしたが、研修会への参加、資料作成、図書等の購入など、政策提言・市政に対する審議力を高めるために活用しました。



令和2年度（4月～10月） 政務活動費決算額内訳

◇会派名、所属議員数は令和2年10月25日時点のものです。

会派名	交付額①	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	資料作成費	資料購入費	人件費	合計②	返還額①-②
自民清風会 (13人)	4,550,000				2,999	631,891	11,184	249,114	895,188	3,654,812
民政クラブ (8人)	2,800,000					264,446	33,792		298,238	2,501,762
公明党 (4人)	1,400,000						16,100		16,100	1,383,900
チャレンジ岡崎・ 黎明の会 (3人)	1,200,000								0	1,200,000
自民創政会 (3人)	1,050,000					244,777	49,862		294,639	755,361
(無所属) 江村力 (7月～10月分)	200,000					34,887			34,887	165,113
(無所属) 大原昌幸	350,000								0	350,000
(無所属・日本共産党岡崎市議団) 新免悠香	350,000					6,420	46,751	17,930	71,101	278,899
(無所属・日本共産党岡崎市議団) 鈴木雅子	350,000					15,202	52,932	18,406	86,540	263,460
(無所属) 三浦康宏	350,000								0	350,000
計	12,600,000	0	0	0	2,999	1,197,623	210,621	285,450	1,696,693	10,903,307

※令和2年6月 江村力議員がチャレンジ岡崎・無所属の会（後に会派名を「チャレンジ岡崎・黎明の会」に変更）を離脱

政府などへの意見書

議会の意思を表明するため、次の意見書を可決し、直ちに議長が関係機関へ提出して、その趣旨の実現が図られるよう要請しました。

●学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションを適切に進めるための意見書

現在、教育の現場では、誰一人取り残すことのない公正に個別最適化され、創造性を育む学びの実現を目指すGIGAスクール構想の一環で、児童生徒に1人1台の情報端末の貸与、並びに校内の高速ネットワーク整備が進められている。

また、これらのハード面の取り組みに加えて、児童生徒の個別最適な学びと協働的な学びの充実や、特別な配慮を必要とする児童生徒の学習上の困難の低減に資するものとして、デジタル教科書の導入も進められようとしている。

GIGAスクール構想に対しては、ICTを活用したオンラインでの授業や宿題の配布、更にデジタル教科書やデジタルドリルの活用など、各人の状況に合わせた学習を推進することにより、多様な学びの実現と教員の負担軽減などへの期待が高まっている。

一方で、全ての教員が情報端末を活用した一定レベルの授業を行うことができるように、個人情報の取り扱い及び管理も含めた教職員の資質の向上が求められる。

また、デジタル教科書・教材の使用に当たり、学校から貸与された端末と互換性がない場合、その教材を選ぶことができない。そして、デジタル教科書・教材に記録された学習履歴の持ち運びができないと、他の自治体への転校の際や学年が上がる際に他社のデジタル教科書に切り替わる場合に、それまで学んだ内容の復習や学習履歴を生かした学びができなくなる。更に、デジタル教科書のみを使用した場合には、学習の基本能力である読解力の低下が危惧される。

そこで、各自治体において、Society5.0時代を生きる子どもたちにふさわしい教育を推進するため、学校教育にICTを浸透させ、更なる教育の充実を図るためのデジタルトランスフォーメーション（以下「DX」という。）の実現に向けて取り組んでいくべきであり、以下の事項について迅速に対応することを強く求める。

記

- 1 情報端末の利活用、個人情報の取り扱いなど、教育DXに対応する教職員研修の在り方について検討を進めること。
- 2 システムやソフトウェアの整備、情報端末や通信設備の修繕、定期更新など、教育DXに関する学校教育予算の充実・確保とその在り方について検討を進めること。
- 3 デジタル教科書・教材の選定に係る自由度を確保するため、教材と各社の情報端末で互換性が取れるように統一規格を検討し、また学びの継続性が確保できるように、デジタル教科書・教材に記載される学習履歴が持ち運べるような環境整備を行うこと。
- 4 よく聞き、よく読み、よく書くなどの生涯学び続けるための基本的な学ぶスキルを身に付ける上で、紙面の活用と対面学習の併用を検討すること。

提出先 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣



表紙の写真

岡崎ガラス工房葵では、市内で回収された廃ガラスびんを主原料とした、ガラス工芸品の制作やガラス工芸の体験講座を行っています。

議会の日程、請願・陳情などに関する事項は、議事課（☎23-6971・FAX23-6538）までお問い合わせください。

議会ダイヤル ☎

自 民 清 風 会	☎23-6390
民 政 ク ラ ブ	☎23-6394
チ ャ レ ン ジ 岡 崎	☎23-6364
公 明 党	☎23-6396
無所属	日 本 共 産 党 ☎23-6397
	無 所 属 ☎23-6524
議 会 事 務 局	☎23-6377